

# 流山市立小山小学校 学校経営グランドデザイン

## <学校教育目標>

**すべての子どもを「幸せ」にする学校**  
～今(現在)も これから(未来)も～

## <学校経営方針>

- 1 教育の「**本質**」を追求し、子どもにとっての「**最善**」を実現する。
- 2 立場の壁を越えた「**対話**」により、合意形成を図る。
- 3 すべての子どもが、ありのままの自分でいられる「**安心感**」のある環境を整える。  
(心理的安全性)
- 4 前例にとらわれず、新たな取り組みに「**チャレンジ**」する。
- 5 物事に対する「**本気さ**」と他者に対する「**やさしさ**」を育てる。

## <行動指針>

### 1 “ 本質 ” を問う

- ～なぜを繰り返し、「最善」を追い求める～
- ・その活動は**何のためにやっているのか？**
  - ・子どもの、「今」と「これから」に**本当に必要か？**
  - ・今の学校の仕組みを前提にしてないか？
  - ・過去の経験にとらわれていないか？
  - ・「**現在の子どもの姿**」を起点にして考えているか？

### 3 “ 安心感 ” がすべての基盤

- ～心から手足を思い切り伸ばせる安心感～
- ・子どものありのままの姿を受け入れる
  - ・子どもの育つ力を「**信じる**」
  - ・子どもの育ちを「**待つ**」
  - ・子どもの失敗を「**許す**」
  - ・大人が結果を急がない

### 5 “ 本気さ ” と “ やさしさ ” ～ 幸せな人生を送るために～

#### 物事に対する “ 本気さ ”

- ・やりたいこと、好きなことを見つける
- ・**努力の「仕方」**を身に付ける
- ・**自分で考え 自分で決めて 自分がやる**
- ・努力の過程を、大人が認める

→ **自分を活かし自分らしく生きる**

**幸せな人生の実現**

### 2 “ 対話 ” する

- ～一人の力と知恵には限りがある～
- ・立場を超えた**対等な議論**（教師、保護者、地域）
  - ・忖度なし 否定なし 感情論なし
  - ・**子どもの声を聞く**（子どもも人格を持った対等な“人”）
  - ・対話の機会の確保（学校の開放：学校も社会の一部）
  - ・信頼関係の構築（大人の仲の良さは子どもに影響する）

### 4 “ チャレンジ ” する

- ～始めなければ何も変わらない～
- ・できない理由はいくらでもある
  - ・目の前の子どもはすぐに卒業してしまう
  - ・「**時代遅れ**」は「**手遅れ**」になる
  - ・100%の準備はいらない
  - ・失敗は「大きな学び」

→ **誰もが生きやすい よりよい社会の実現**